

青森・岩手・秋田で避難生活を送られている皆さまへ

# ～北東北拠点だより～

10月号

酷暑の夏も終わりを告げ、秋風がさわやかな  
季節となりました  
皆様、いかがお過ごしでしょうか？



秋田拠点センター入居施設  
秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」  
あきた市民活動サポートセンター



福島県から青森・岩手・秋田に避難されている方々の避難生活の事、日々の生活の困り事、悩みや不安など様々な相談に応じます。

避難元の思い出や現在の生活の様子など、気兼ねなく話せる場所として足をお運びください。  
スタッフ一同、お待ちしております。

## 「音楽と珈琲で交流会＆相談会」(秋田)

8月20日(日)  
秋田市遊学舎



お盆が過ぎても毎日30度超えの猛暑日が続くなか秋田交流会を開催しました。

交流会では7月14日から降り続いた大雨で大きな災害になってしまった豪雨災害が話題になりました。被害を受けて知人宅に避難した方や、福島の3.11の震災と重なって数日間は体調が良くなかったと話す方。避難者生活が12年半も経過し、各地で大きな災害が発生しているのを見聞きして、自分たちだけが避難者と言えないつぶやく方もいました。

美味しい珈琲をいただきながら心を開いて、思いを語り合える穏やかな時間を過ごすことができました。

「心とからだ・福祉の相談会」コーナーを設置



連携：秋田県総務部総合防災課被災者支援チーム  
秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会  
秋田県社会福祉協議会



# 前向きに！いきいきと！

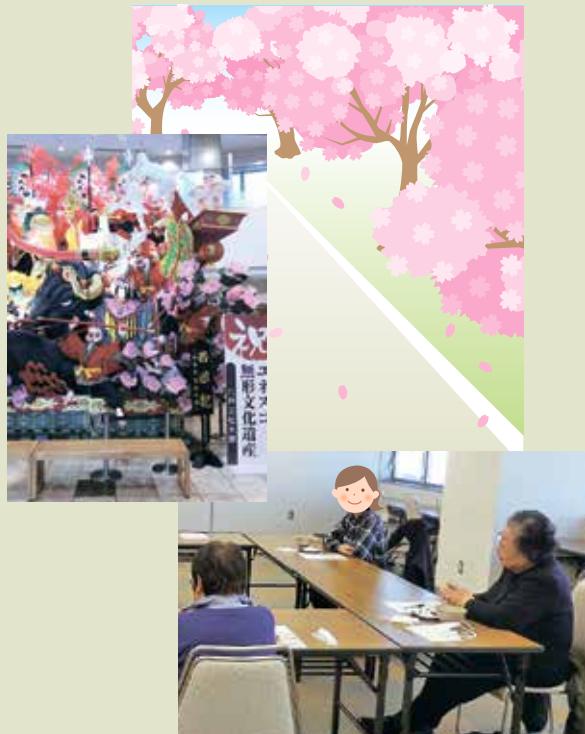


猪狩美智子さん(青森県八戸市在住)

福島県双葉郡富岡町から娘さんの住む、青森県八戸市に転居した猪狩美智子さんをご紹介します。

猪狩さんは、毎回、欠かさず交流会に参加してくださっています。震災の直後の避難したことや、一時帰宅した時の言葉にならない自宅の様子について、野生動物に荒らされた部屋、タンスの中の大思い出の着物もすべて、処分せざるを得なかった辛さや悔しさ。でも更地になってしまった事でなぜか気持ちは落ち着きました、不思議ですね。と笑って話してくださいました。

毎年春になると、富岡町夜の森の桜並木の美しさなど、震災前の富岡での生活を思い出します。歳を重ねて健康面の不安はあるけれど、福島を離れて3年目から双葉の仲間7名で郡山の浅香荘という旅館で、年に3~4回集まり、楽しい時間を過ごしているとのこと。コロナ禍で会うことができなかったが、今年9月4日・5日に仙台の秋保温泉で会うことができたと弾んだ声で教えてくださいました。96歳から72歳の仲間との再会が猪狩さんの楽しみと日々の目標だと話してくださいました。



交流会での猪狩さん

## もしもの「備え」していますか？



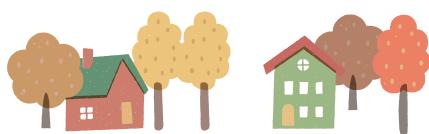
全国で豪雨による被害が相次いでいます。皆さんのお住まいはいかがでしたか。

### ～ローリングストックの活用～

備蓄品を日常生活で上手に使いながら、もしもの「備え」にするローリングストック「備えて・食べて・買い足す」を繰り返して、常に一定の食料を家に備蓄しておく方法です。



### 県外避難者心のケア訪問事業



福島県では、一般社団法人日本精神科看護協会に委託し、福島県外へ避難されている方へ、心のケアのための訪問を実施しています。看護師などの専門職が、避難先のご自宅を訪問し、心や体の健康相談をお受けします。

予約・お問い合わせは **0120-357-257**  
(日本精神科看護協会/平日8時~17時)

または秋田拠点(018-829-2140)まで、ご連絡をお願いいたします。

### コラム

12年半という長い時間を避難者という呼び名で福島を離れて生活を続けている方々。不安や悩みを誰に話したらいいの？

誰が理解してくれるの？

そんな会話をずっと聞いてきたような気がします。何年経過しても消えない故郷への想いと思い出は歳を重ねるごとに深くなると話します。何でも話してください！みんなが集え、お互いを認め合えるそんな拠点であり続けたいと思います。(畠)

### 【運営・発行元】

NPO法人あきたパートナーシップ

〒010-1403 秋田県秋田市上北手荒巻字堺切24-2 (遊学舎内)

TEL018-829-2140 FAX018-829-5803

Email:info2340@akita-partnership.jp

